

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	『風は忘れない』信州の民話の源流を求めて ハイビジョン映像制作
事業主体 (連絡先)	「安曇野の夜明け」制作委員会 (〒399-8301 安曇野市穂高有明 8660-10 TEL0263-83-6491)
事業区分	③教育・文化の振興に関する事業 ⑥ ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,844,171 円 (うち支援金 : 1,380,000 円)

事業内容

1. 映像・DVD制作

民話「ともだちに化けたキツネ」「庵主さまとムジナ」「常念坊とつくり」「でいだらぼっち」「玄蕃之丞」など全9話の語り映像及び自然風景撮影編集。84分に仕上げた。DVD168枚を長野県内全図書館と松本市内公立小中学校に配布、73枚を一般販売した。

2. 「語り部の会」実施

2015年11月29日、豊科交流学習センター「きぼう」でDVD完成記念試写会開催。51名参加。

2016年3月20日、国営アルプスあづみの公園で語り部交流会を開催。県内外から20名の申込みと一般来園客約50名が参加。他、地域で語りを披露した。



「おしどりの水供養」
撮影風景

【目標・ねらい】

- ① 民話を通じた地域の連帯
- ② 地元の教育・文化の向上
- ③ 特色ある観光地づくり

事業効果

① 民話を通じた地域の連帯

「語り部の会」の人たちが民話を通じて仲間ができた、地域の人たちと触れ合うことで地元の生活文化を共有でき、連帯の意識が芽生えた。

② 地元の教育・文化の向上

図書館や小中学校にDVDを配布し、貸し出しや上映会をしてもらうことで、子供たちや一般家庭で民話を学ぶきっかけとなった。

③ 特色ある観光地づくり

交流会の開催では、県内外から活動に興味を持ってもらえ、安曇野への訪問のきっかけとしての反応があった。

※自己評価【B】

【理由】「語り部の会」は定着してきた。DVDをきっかけに、地元の集まりや他地域の発表会にも呼ばれるようになり交流が進んだ。安曇野観光を兼ねて、語り部の会に参加したいという方もいて、観光資源としての手ごたえがあった。DVDの販売本数が予定数を大きく下回ったが、引き続き販売する。

今後の取り組み

引き続きDVD「風は忘れない」の販売や定期的な「語り部の会」、「語り部交流会」の実施により、県内外の方に安曇野に興味を持ってもらうことで、観光客誘致に繋げていきたい。

「語り部の会」会員は、地域に眠っている民話を掘り起こすとともに、安曇野の歳時記、季節の風景や暮らしなどを新しい民話として創作し、広く県内外に発信する力をつけていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある